

- 市・県民税（4期）
- 国民健康保険料（7期）
- 国民年金保険料

納税・納付は便利な口座振替で

新世紀へ跳ねる流山



市内で唯一、染め物業を営む宇佐見染物店（市野谷）で染められた無地染めのれん。ことしの干支のうさぎがあしらわれている

市議会議員

熊田 仁一



明けましておめでとうございます。皆様にはご健勝で新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

不況・不安定で先の見えな社会・経済の現状ですが、遠からず必ず明るい未来が見えてくるものと確信しています。将来に希望をもって前進しましょう。

まもなく介護保険制度が始まり、高齢社会を目前にして、社会福祉の充実がより緊急の課題となっています。

常磐新線の建設も流山市内の工事が始まり、より身近なものとなってきます。

一般廃棄物処理施設建設計

画の見直し作業もまもなく終わり、ごみ問題の方向がより具体的なものとなります。

常磐新線建設が進展するに伴い、流山市の財政はより厳しいものとなること予想されます。しかし、この事業は流山市の将来のために、避けられない大事業と位置付けられます。

この国家的大プロジェクトを着実に進めるためには、国からの新たな財政支援策の実現が必要です。

市議会は、この大事業を完成するために奮闘する決意です。市民の皆様のご理解とご協力を願います。

二十一世紀に向け、希望を抱いて前進を

流山市長

眉山 俊光



明けましておめでとうございます。年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

二十一世紀の到来を間近に控え、新たな時代要請を踏まえ、その対応・取り組みが大切な時期を迎えております。

よりよい流山を築くため、引き続き都市の骨格形成に重要な常磐新線の建設および沿線整備、新川耕地有効活用、廃棄物循環型社会の構築、介護保険、新たな視点に立った健全な財政運営など諸課題に積極的に取り組む決意を年頭にあたり、新たにしております。

特に、今春には、常磐新線

沿線整備に係る区画整理の事業認可を得て、本格的に都市づくりの実践の段階に入ります。また、本年は、いよいよ本市の将来都市像、基本的方向を定めていく重要な年であるので、しっかりとした将来の長期構想・基本的指針を定めてまいります。

二十一世紀に輝く「ふるさと流山」の実現に、自然、人間、文化の価値を基調とし、心豊かに安心して住める都市づくりと、開かれた市政の推進を市政運営の根幹に据え、市民のお力添えを得て、全力を傾注して取り組んでまいります。

新世紀に輝くふるさと流山の

実現に全力を傾注

「ワークショップは、市民自ら運営し、市民側も職員側もともに勉強になったことが大きな成果ですね。今後のまちづくりにおいて、市民参加は不可欠ですから。それにしても、市民と行政が、これほど密着して成し遂げた市民活動も珍しいですよ」

■プロフィール ^{ひろやす} 廣保 ^{ただし} 正さん

大正13年生まれ。東京大学農学部研究生、サントリー株式会社(山梨ワイナリー・醸造作物研究所)を経て、千葉大学教授(園芸学部農芸化学専攻)。現在、千葉大学名誉教授(農学博士)、(財)日本園芸生産研究所理事、流山市商工会経営者学院長、本市廃棄物対策審議会委員としてもご尽力いただいている。著書には『農学における生物化学(共著)』『果樹の栽培新技術(分担)』『食の科学(分担)』などがある。



は市民が主役



市民と行政のパートナーシップを育むことが大切

これまで流山市は、創生塾やワークショップなど、独自の手法で市民参加によるまちづくりを進めてきましたが、二十一世紀に向けた新しい長期構想の策定にあたっては、市民と一体となった計画づくりをさらに進め、より開かれたまちづくりを目指しています。そのためには、もつと市民と行政のパートナーシップの醸成が必要であり、それを実現していくためのシステムづくりが急務となっています。そこで、新しい長期構想がスタートする2000年を目前に、行政、市民参加などの各分野でご参加、ご尽力いただいている四氏と流山市長との座談会を企画しました。二十一世紀に向けた市民と行政の良きパートナーシップの展望などについて語っていただくというものです。

市民の声を生かした一茶双樹記念館で

市長 本日はお忙しいところありがとうございます。皆様も、住宅街の一角にこんな落着いたところがあるんですね。二、三度来ています。



一茶双樹記念館の縁側で談笑する四氏(左から渡辺さん、廣保さん、流山市長、石崎さん、横山さん)

すね。

渡辺 庭も良いですね。先ほど、茶道親和会の皆さんが設けてくださった茶席も大変素晴らしいですね。

横山 私も初めてです。こんな身近なところにあるんですね。

てちょっと驚きです。

市長 便利な立地にあるので、もつと市民の方に利用してほしいですね。

石崎 見学だけに限らなくても…。

市長 もちろんです。文化活動の拠点として建てたものですから。また、建設に当たっては、多くの市民の声を取り入れられました。

新時代のまちづくりには市民参加が不可欠

市長 それでは始めさせていただきます。

今、二十一世紀のまちづくりの指針とするための新しい長期構想を準備しているわけですが、それに役立てようとしてワークショップ(*注1)という新しい手法を取り入れられました。その節は、廣保先生、渡辺先生には、たいへんご尽力いただき、ありがとうございました。

廣保 なにしろ初めてのことで慣れていないから結構大変でした。

例えは、タウンウォッチングです。まちを歩いて探索しながら、流山の問題点を探

廣保 審議会なんかつくって？

市長 ええ。各方面の専門家と住民の方々と審議会をつくりました。

渡辺 それは知らなかったな。勉強不足です(笑)。

市長 だから、今回の座談会にふさわしいと、ここを選びました(笑)。

廣保 なるほど(笑)。

「そんなことをやらなくても流山の問題点はわかっているんだ」ってね(笑)。だから、早く論点を整理して、長期構想に取り入れられるものをつくるべきだという思いが強かった。

ワークショップは、直接民主主義的な要素があるので、我々年配者は、それをどうとらえていいのか戸惑いがあったのかも知れません。

市長 いろいろな意見が出ることはいいことです。それがワークショップの良さであり、意義のあるところですね。

廣保 市民が自ら運営してやったことは、大きな成果があったと思います。市民参加は、今後のまちづくりには、不可欠ですからね。

新しいまちづくりに向けた市民と行政の意識の高まり

市長 ワークショップをはじめ、本市ではいち早く「開かれた市政」を打ち出している

と自負しているんです。渡辺 義務も保障もない中で、市民が一生懸命やる流山市の手法は、全国でも珍しいんです。また、意見を言い、全体を導き、人の意見を聞き、まとめる力のある人材がいることは素晴らしいですね。これは創生塾(*注2)の成果でもあるし、市長がワークショップをはじめ、開かれた市政を実践した結果ですね。

市長 ありがとうございます。

渡辺 この点は、個人的にも非常に興味があるんです。市が「開かれた市政」を掲

- 【出席者】
- 廣保 正 千葉大学名誉教授
 - 渡辺 俊一 東京理科大学教授
 - 石崎 富江 元東京都福祉局長
 - 横山 和子 東洋学園大学教授
 - 流山市長 俊光

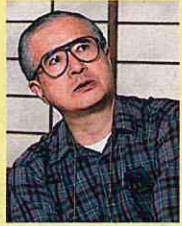
*注1：意見や技術の交換・紹介を行う研究集会
*注2：平成5年にスタートした、市民によるまちづくり研究グループ。職業もさまざまで、現在108人の塾生が活動している



■プロフィール ^{いしざき} 石崎 ^{とみこ} 富江さん

昭和7年生まれ。東京都立大学卒業後、昭和28年都庁入り。婦人部福祉課長、都民生活局計画課長、児童会館長、生活文化局青少年部長、福祉局児童部長、同局長を経て、昭和62年には女性として初めて東京都養育院長に就任し、福祉局長などを歴任された。現在、流山市の情報公開審査委員会として開かれた市政のアドバイザーでもある。

「行政に携わった私の経験から『市民は市民の幸せのために、ぬくもりのある市政をつくりたいと積極的に市民参加してくるもの』なんです。だから、こちらが本気になれば、市民も一生懸命入ってきてくれる」



プロフィール 渡辺 俊一さん

昭和13年生まれ。東京大学建築学卒、ハーバード大学デザイン大学院都市地域計画学科修士課程修了、工学博士(東京大学)。

「流山手法の市民参加型は全国でも珍しい。市民に意見をまとめる力と政策立案能力があるのがすごいですね。」

新春 座談会

21世紀のまちづくり



座談会を行った一茶双樹記念館

いげ、創生塾をはじめ、いろいろ取り組んできたのは、ここ数年の間ですね。こんな短い期間で市民参加の力が備わってきた。この秘密を解くキーワードは「ネットワーク」では、と思っています。

豊かな人間・環境・文化が育つこそ 価値あるまちづくりができる

市長 私は、日頃から、豊かな人間が育っているか、自然の価値を創造しているか、豊かな文化を醸成しているか、の三点が価値あるまちづくりをするためには、必要だと思っています。

市長 ワークショップなど豊かな人間が育つていかなければ、価値あるまちづくりはできません。そして、現在ある自然を生かし、新しい環境を創造して、住みよいまちにする。

市民・行政(職員)・専門家が 信頼し合える関係づくりを

市長 市民と行政の関わり方なんです。市民参加の中で、ある意味で対立的な構図になることもあります。

石崎 私の経験から言えは、「市民は市民の幸せのために、ぬくもりのある市政を

は行政も都民も具体的に何をしたらよいかわかりませんでした。そこで、都民参加による行動計画の策定づくりを始めたんです。

市長 理想的な展開ですね。対立することはなかったんですか。

石崎 もちろんありません。例えば、介護手当の考え方は、在宅介護の担い手は主婦であるから、介護手当を出すべきだという意見に対し、手当を出せば介護は女の仕事と固定化し、介護が社会化できないので出すべきでないという二つの意見に分かれました。

結局、後者の意見が通りましたが、婦人問題会議では議論でした。この議論が必要なんです。それがあればこそ、住民との合意が得られ、都民も行政も成長する。お互いに意識を変えていくには時間がかかります。

でも、流山市の場合、市長が開かれた市政を打ち出しているから、創生塾やワークショップなどで、市民や職員が勉強する環境があります。今後のまちづくりには、大変大きな財産ですね。

市長 私大いに期待しているところです(笑)。

本市の ワークショップ の成果 (市民研究委員会) 建設的で創造的な意見が续出 新長期構想策定に大きな成果



昨年7月に行われたワークショップの全体会

開かれた市政を一層進めるため、21世紀の市政運営の指針となる「新長期構想」に、市民の声を反映させようと、市民自らの運営によるワークショップを結成。

プロフィール 横山 和子さん



昭和29年生まれ。北海道大学経済学部卒、インディアナ州立大学大学院修士課程修了。昭和53年ロータリー財団の奨学金を得て、インディアナ州立大学ビジネススクールへ。

「流山市には、今、1,000人強の外国人の方々が生きています。彼らに住みづらいという意見があれば、市民にとっても、潜在的ではあるけれど、問題としてあるのでは…」

システムを考える

新春 座談会



市内に住む外国人の方の意見ももっと聴いてみては…

市長 これまでお話を聴くと、さらに「開かれた市政」

実践させるためには、市民と行政がもっともつと接近しなければならぬと思います。そのためには、行政も市民ももっと意識を変えなくてはならない—ということですね。また、石崎先生のお話から、市民と行政の関係の中で「ボランティアによるまちづくり」も、今後、重要だということがわかりました。



国際公務員(*注3)のご経験のある横山先生からみて、他の国の市民参加のあり

方、ボランティアによるまちづくりなどはどうですか。

横山 5年前、国連ボランティアとしてカンボジアで選挙の支援をしてきました。これら国連ボランティア活動により、カンボジアに民主主義の根を植えたかと評価されていますが、苦労したのは市民の従順さでした。体制のいうことをすべて受け入れてしまふんです。民主主義が成熟するために、長い時間を必要とする実感しました。

一方、私がジュネーブの国連で働いていた時期に、スイスの直接民主制の現場を垣間見る機会がありました。スイスでは、国や地域に関わりのある重要な事柄を住民投票によって決めます。その際、いくつかの州では、住民が村の



大きな木の下に集まり、集会を開き、意見を述べ合い、最後に挙手による多数決で決めていました。ああ直接民主主義を行っているな、と感動しました。

市長 ワークショップの活動も似ているところがありますね。

廣保 タウンウォッチングなんかどうでしょうかね。

横山 私は国際公務員として、ヨーロッパには九年間滞在したのですが、その期間中、外国人としての違和感を感じたことはほとんどありませんでした。多文化、多民族が共存してきた歴史の重みで、ヨーロッパでは、少数の意見を認める社会の仕組みが形成されているんですね。

流山市には、今、千人強の外国人、四十五か国からの人々が生活しています。彼らに住民らしいという意見があれば、他の市民にとっても潜在的ではあるけれど、問題としてあるのでは…。

市長 そうですね。先日(十二月十三日)も市の国際交流協会が主催して、市内に住む外国人を対象に意見交換会を開きました。その中で、市内に住んで気づいたことや将来こんなまちであってほしい—などを伺いました。今後もさらに聴いていきたいと思えます。

横山 二十一世紀の時代は、市民社会の時代と言われ、市民参加のないまちづくりはむしろ不可能ですね。

主張と責任をしっかりと理解してもらおう場として、ワークショップのような市民参加型は、いい方向性を持っていると思います。

市民と職員が一緒に計画立案する小集団がもっとあっていい

市長 行政と市民の関係は、いわゆる御用聞き型の行政、つまり、市民の話を聴けば市民参加なんだという意識、市民側は陳情型の市民参加で、何かあれば権利を主張し、要望すればいい、という意識になりがちでした。

でも、こうした関係では、二十一世紀のまちづくりはできません。渡辺先生は、「住民の権利と市民の論理」を、長年研究しておられます。残念ながら、流山にも依然として、総論賛成、各論反対という大きな流れがあるので…。

渡辺 市民参加の特徴は、いろいろな人の要望、多様な価値観からスタートして、テーマを絞って議論し合い、やがて公益としての共通点を見出すことなのですが、途中で「わからない」「まともない」「エゴになる」という壁にぶつかることがあります。

でも、市民参加の意味は、そこを乗り越えて「自分の領域を客観的に把握して、なかなかまとまりにくいところも、何とかまとめる」というところへいかなくては。

市長 そうなんです。そのためには、職員の意識改革も必要です。市民の要求をうるさがるようではダメなんです。職員と市民と一緒に計画立案を進めていくような小集団がたくさんあつていいと思

います。

渡辺 そのような小集団が、市民参加型プランを進めていくうちに、市民が法律や財源問題などの制約を経験し、自分たちが通せることと通せないことがわかってくるのです。つまり、行政と同じ土俵になるというか…。

それと不利益になる市民には、保障も必要だと思います。金銭的か施設的な…。でも、それだけではダメなんです。

住民の論理も、ある程度利益を求めながらも、貢献したという満足感や誇りを持つとともに、周りの人々がねがらうてくれるような状況ができてほしいですね。私は、これを「住民論理の進化」と位置づけました。

一方、市民論理も全体の利益を守るためには、個別の利益を無視するのではなく、自分も負担するということですね。これを「市民論理の住民化」としました。

市長 それがまさに一つ一つの文化、です。渡辺 そうだと思わなくて。例えば、焼却炉についていろんな考え方があって、いろいろの考え方があって、思うだけでなく、その処理場で日本一のリサイクル、資源化をやってみせる。また、ガラス張りにして、市内の小学生在が「見学するに値するもの」



にする、という考え方もできるわけです。

そうすれば、用地を提供する人も誇りを持てるし、周りの人にも理解も得られるのではないのでしょうか。そういうことが、いろんなところで出てくると思います。

横山 情報に関して言えば、市民がどこかで間違った情報を受けるのはとても危険なことだと思います。そこで、市政に対し、質問や、何か疑問があるときに、そこに行けばわかりやすく情報が整備されている、この問題については、ここまでやっていますよ」と、市民レベルで教えてくれるようなところ。例えば、「まちづくり推進課」のようものがあれば、市民はもっと参加しやすいのでは。

石崎 私も賛成。

市長 確かに情報処理の仕事はできてはいるのですが、わかりにくいかも…。石崎 やはり市民活動と行政運営の情報それぞれ集まる専門の部署がないとカバーしきれないのでは…。市長 例えば、まちづくりの情報図書館みたいに整理されアドバイスできるとか…。横山 いいですね。石崎 それいいですよ。そ

市民活動と行政の情報が集まり、交流できる場所が必要

横山 情報に関して言えば、市民がどこかで間違った情報を受けるのはとても危険なことだと思います。そこで、市政に対し、質問や、何か疑問があるときに、そこに行けばわかりやすく情報が整備されている、この問題については、ここまでやっていますよ」と、市民レベルで教えてくれるようなところ。例えば、「まちづくり推進課」のようものがあれば、市民はもっと参加しやすいのでは。

石崎 私も賛成。

市長 確かに情報処理の仕事はできてはいるのですが、わかりにくいかも…。石崎 やはり市民活動と行政運営の情報それぞれ集まる専門の部署がないとカバーしきれないのでは…。市長 例えば、まちづくりの情報図書館みたいに整理されアドバイスできるとか…。横山 いいですね。石崎 それいいですよ。そ

てくると思います。廣保 それと行政側も突破しないといけないことがあるんです。それはあらゆる機会に市民参加する市民に、納得するものを用意するということです。その反面、市民も参加するに当たって行政が納得できるような雰囲気をつくっていくかという我々市民の責任もありますが…。

市長 そうですよ。私もそう思う(笑)。

石崎 そして、行政と市民活動の中間に情報が集まり、相互に交流できる場所もほしいですね。お互いの立場もわかりやすいですね。また、グループ同士や行政と一緒にやるきっかけづくりにも役立つ。それに、関心のある専門家もつくる可能性が高い(笑)。

市長 それはいい(笑)。

石崎 これからのまちづくりには市民はもちろん、専門家の方々のご意見も不可欠ですからね。石崎 そして、それを組織的にやっていけるよう、指導できる職員をそこに置く。市民活動の助言者も置く。専門分野の人も置く。そこで市民との接点をコーディネートする役割も担うわけです。例えば、「財団法人まちづくり支援センター」、「市民活動支援

市民と行政そして専門家が

パートナーシップを築く

*注3：国際連合をはじめ、他の国際機構で働く職員の総称

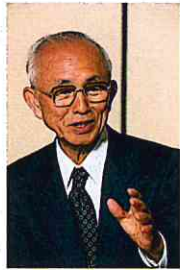
新しい時代のまちづくりの



その方面の専門の方がいて、非常に心強かったですね。

市長 そうなんです。先生方をはじめ、市政に反映できる多くの市民の知恵を組織化する必要性をますます痛感しているところです。

渡辺 私にとっても、流山は大切にしたいまちです。だから、私は積極的に流山のまちづくりに参加させてもらっています。それに流山が魅力的なまちであり、魅力的な市民がいるからこそ、参加するんです。



渡辺 私もそう思いますね。流山の市民運動がすぐれているのは、その地域の人々の力もさることながら、戦前からある種の文化の伝統の雰囲気があるような気がします。現代的な文化とは違う、流山独特のものですね。

そして、生活を守る、都市を守る中で、「より普遍的な価値のために、よりスマートに行動できる」、これが最高の文化ですよ。

市長 私の目指す文化もそうですね！とはいえ、ご指摘のあった「スマート」という言葉の意味を考えると、まだまだ流山はその域には達していません。

でも、その近くにいることは確かだし、今後、まちの成長とともに、さらに市民参加が活発になり、成熟していく中で、そのスマートさは身に付くと思うんです。そうなれば、市民と行政のパートナーシップは揺るぎないものになるはずですよ。

横山 そのために、私たちの経験が少しでも生かされるのなら、こんなうれしいことはありません。

渡辺 そうなんです。われわれの持つ知識や経験が、まちづくりなどに役立つことは、自分にとっても新しい勉強になるし、自分も生かされることでもあるわけですから。

石崎 ほんと、そうですね。行政という組織に身を置いた者として、その経験が少しでもお役に立てるなら、本当にうれしいことです。

廣保 それに、こうしていろんな人たちと市民参加をしていると、いつまでも頭が柔軟でいられるし(笑)。

市長 ありがとうございます！先生方をまちづくりの

よりよいまちづくりを



渡辺 おっしゃるとおり。市民参加への支援は、行政に求められている重要な機能だと思えます。しかし、長期的には市民サイドだけで運営できるほうがいいと思えます。

石崎 そこがポイントですね。これからは、行政も自立した市民活動との「協働」が求められます。

市長 確かに女性の意見は生活に直結していますので、長期構想にも役立つことが多いです。しかし、残念ながら女性職員で課長職は、現在はいません。今後の課題と認識しています。

横山 また、一般女性職員でも責任を持ってまちづくりをしていくという自覚が必要ですね。

市長 私もそう思います。石崎 特に地域レベルでは女性の役割は重要ですからね。女性(市民も職員も)が意識を変えないと、住民のためめやましい市政にはなりません。

横山 その意味では、市民と行政の橋渡しとして、女性職員の役割は非常に大きいです。彼女たちの育成を期待しています。

女性の意識改革がまちづくりのポイント

横山 市民参加意識を高めるための要因として、市の職員の教育があげられました。私は特に女性職員を育てていただきたいと思えます。市民が主役のまちづくりの中心になるのは、家を切り盛り、子育てをしている女性

まちづくりの心強い応援団と期待しています

市長 今回の長期構想策定には、さまざまな手法を取り入れ、市民参加によるまちづくりをを目指しています。それには、市民や行政が相談できる各分野の専門家による組織づくりが必要と考えています。

例えば、介護保険について、市内の江戸川学園に職員を派遣して勉強させています。

廣保 ごみ処理問題では、

しかし、常磐新線の問題、区画整理の問題となると、専門分野の領域であり、職員だけでは対処するよりも、専門家の協力を得ながら事にあたったほうが成果は上がるはずですよ。

流山を愛し、流山を知り尽くした知識人を組織化し、一言を付してもらい、市政に反映させたいと思っています。

廣保 ごみ処理問題では、

困気がありますね。キザに言えば「文化」でしょうか。

市長 そうなんです。先生方をはじめ、市政に反映できる多くの市民の知恵を組織化する必要性をますます痛感しているところです。

渡辺 私にとっても、流山は大切にしたいまちです。だから、私は積極的に流山のまちづくりに参加させてもらっています。それに流山が魅力的なまちであり、魅力的な市民がいるからこそ、参加するんです。

そして、生活を守る、都市を守る中で、「より普遍的な価値のために、よりスマートに行動できる」、これが最高の文化ですよ。

市長 私の目指す文化もそうですね！とはいえ、ご指摘のあった「スマート」という言葉の意味を考えると、まだまだ流山はその域には達していません。

でも、その近くにいることは確かだし、今後、まちの成長とともに、さらに市民参加が活発になり、成熟していく中で、そのスマートさは身に付くと思うんです。そうなれば、市民と行政のパートナーシップは揺るぎないものになるはずですよ。

横山 そのために、私たちの経験が少しでも生かされるのなら、こんなうれしいことはありません。

渡辺 そうなんです。われわれの持つ知識や経験が、まちづくりなどに役立つことは、自分にとっても新しい勉強になるし、自分も生かされることでもあるわけですから。

石崎 ほんと、そうですね。行政という組織に身を置いた者として、その経験が少しでもお役に立てるなら、本当にうれしいことです。

廣保 それに、こうしていろんな人たちと市民参加をしていると、いつまでも頭が柔軟でいられるし(笑)。

市長 ありがとうございます！先生方をまちづくりの

流山まちづくり創生塾

新しいまちづくりに積極的に参加し、エネルギーに活動！

東京のベッドタウンとして発展してきた流山市は、社会を支える多くの人材が在住しているにもかかわらず、その人材がまちづくりに生かされていない状況にありました。また、常磐新線建設や、それに伴う周辺整備など、新たなまちづくりには、ソフト・ハードの両面から均衡あるまちづくりを同時に推進することが重要課題となっています。そこで、平成5年10月に、新しいまちづくりに積極的に参画できる青年地域リーダーの育成、次代を担う人づくりを目指そうと、市民による創生塾が誕生しました。現在、108人の塾生がおり、会社員、自営業、主婦、学生、公務員など、さまざまな職業の人たちが、自分の興味ある研究テーマごとに分科会を作り活動しています。21世紀に向けて、新しいまちづくりを推進する流山市にとって、創生塾は流山市が目指す、「価値あるまちづくり」に夢と希望を持ち、積極的に参画する場となっています。

創生塾が主催したタウンウォッチング

新春イベント情報

成人式

ことし成人を迎える若者の新しい門出を祝う「二十歳を祝うつどい(成人式)」を一月十五日、午前十時(受け付けは九時三十分)から文化会館で開きます。

ことしの対象者は、昭和五十三年四月二日から同五十四年四月一日までに生まれた方が、市内では二千二百五十一人が成人となります。

当日は、中学時代の先生からのお祝いメッセージや、中

学時代の行事を編集したビデオの放映など、成人式実行委員会の皆さんが企画した手づくりの式典が行われます。

対象者には、すでに案内状を送付しましたが、届いていない場合や紛失した方も直接来場すれば出席できます。

※会場は駐車場が狭いので、車での来場はご遠慮ください。

◎社会教育課 ☎50・6100



久しぶりの友だちとの再会... やっぱり笑顔は昔のまま...

親子たこあげ大会(市青少年育成会議・市青少年相談員連絡協議会主催)を十日、江戸川河川敷野球場で行います。

この揚がり具合や出来具合を競います。市販のたこでも参加できます。

▽日時 11月10日(日)9時30分(受け付け)〜12時▽場所 江戸川河川敷野球場▽参加費 無料▽申し込み 電話で青少年課へ

※当日参加も可

◎青少年課 ☎50・6107



誰のたこがいちばん高くあがるかなあ

親子たこあげ大会

消防出初式

消防の事始めを祝う新春恒例の「消防出初式」を今月九日、文化会館で行います。

当日は、市消防職員や消防団員など約六百人と消防車両三十台以上が勢揃いし、消防訓練の演技などを披露します。

また、消防業務に功績のあった方の表彰も行います。

なお、消防本部では、当日前七時に市内一斉にサイレンを鳴らして、「火災予防」を市民にPRすることになっています。火災発生と間違わないようご注意ください。

▽日時 11月9日(日)10時5分▽会場 文化会館

◎消防総務課 ☎58・0119



実戦さながらの放水訓練

選挙啓発書き初め

明るくきれいな選挙の啓発活動の一環として、市選挙管理委員会と明るい選挙推進協議会では、市内の小・中学生を対象に「選挙啓発書き初め」を募集します。この書き初めは、お正月に合わせて毎年行っているもので、ことしも次の要領で募集します。

皆さん、奮って応募ください。

▽大きさ ①小学生：縦83cm×横21.5cm ②中学生：縦130cm×横36cm▽テーマ 小学1年生：ゆめ/同2年生

：せいけつ/同3年生：白ばら/同4年生：正しい一票/同5年生：大きな期待/同6年生：明るい選挙/中学1年生：投票参加/同2年生：国民主権/同3年生：民主政治▽応募方法 各学校ごとに応募者名簿を添えて、今日11日までに市選挙管理委員会事務局へ▽賞 入賞者に賞状と副賞、応募者全員に参加賞※応募作品は選挙啓発に活用しますので返却できません

◎市選挙管理委員会 ☎50・6100

児童館・センター 今月の催し物

会場	日程・催し物
駒木台児童館 ☎54-4821	7日(木)~8日(金) らくらくクラフト(たこ作り)
江戸川台児童センター ☎54-3026	5日(火) 作ってみよう「親子たこ作り」
向小金児童センター ☎73-9320	30日(土) すごろく遊びをしよう
思井児童センター ☎59-5666	16日(土) おもしろゲーム大会
十太夫児童センター ☎54-5254	4日(月)~8日(金) グニャだこ作り
野々下児童センター ☎45-9500	16日(土) ドッジボール大会
赤城児童センター ☎58-4545	30日(土) オンリーワンゲームをしよう

人口と予算

【人口・世帯】 <12月1日現在>

- ◎合計=149,239人 (前月比139人増)
- ◎男=74,285人 (同73人増)
- ◎女=74,954人 (同66人増)
- ◎世帯=51,730世帯 (同82世帯増)

【予算】 <12月1日現在>

- ◎一般会計=34,422,979千円
- ◎特別・企業会計=24,195,279千円

'99東葛6市長 新春に語る

~知事を招いて~

東葛飾地区の六市長(流山、松戸、柏、野田、我孫子、鎌ヶ谷)が県知事を囲み、平成十一年の抱負などを語る新春恒例の特別番組「'99東葛六市長新春に語る」が、あす二日(午前9時30分~10時55分)、千葉テレビ(46ch)で放送されます。

ことしは「私の座右の銘」の披露もあります。ぜひご覧ください。

◎秘書広報課 ☎50・0003

相談あんない

Table with columns: 相談 (Consultation), 日時 (Date/Time), 場所 (Location), 問い合わせ (Contact). Lists various services like 市民相談, 法律相談, 悩みごと相談, etc.

※注1 2日(土)・3日(日)の市政相談はありません

保健センター 保健あんない

Table with columns: 内容 (Content), 期日・受付時間 (Date/Time), 場所 (Location), 備考 (Remarks). Lists health services like 母親学級, 離乳食教室, etc.

柏保健所 67-1255

Table with columns: 療育相談, 発達相談, 心の健康相談. Lists specialized health consultation services.

※期日・受付時間欄に——印のあるものは開催しません。転入者などで個人通知が届かない場合は保健センターへ問い合わせを



休日の救急医療
▽受付時間は、9時～11時30分、13時～16時30分(歯科は11時30分まで)
▽夜間は、市内の医療機関が当番制で診療。当番医はあらかじめ市消防本部58・0119で確認を

今月の催し

★印のあるものは主催のものです

★男女共同参画社会づくり講座
▽日程/場所①2月5日(金)南流山センター②2月12日(金)北部公民館
▽参加費 無料

農業委員会の選挙登録
市内の農業従事者が、農業委員会委員の選挙権と被選挙権を得るため、毎年一月一日現在で行われている選挙人名簿への登録申請期限は、今年十月までです。

国民年金に加入を
二十歳になったら、必ず何らかの公的年金に加入しましょう。

SPORTS スポーツ
新年になったのを機に、ジョギングやウォーキングを始めませんか。



今から走れば春には身体が軽やかに...

EVENT

INFORMATION

お知らせ

者、同居の親族で、年間60日以上農業に従事している方

しまったら夫を亡くして母子世帯になってしまった—など、何が起るかわかりません。そんな「もしも」のときにも、加入者本人や遺族の支えになります。

2 国社会体育課59・121



昨年の暮れ、駒木台の林の中を歩いていると、勉強机が捨てられていました。不法投棄です。本棚のついた立派な木製机で、アニメのシールが何枚か張られてい

おのれ流(ト)み聞録

「リサイクルを実践しよう」

ました。きつと、小学校の入学祝い「しつかりと勉強するんだよ」と買ってもらった机でしょう。その奥の木立の影には、洗たく機と冷蔵庫が横倒しになっていました。わざわざ林の奥に捨てなくても、と思うのです。それは清美園に運ばれ、勉強机は、破砕機で砕かれ、机とともにあった子どもの思い出も灰となり、煙となりました。清美園内に持ち込まれたまだ使えるような応接セットや勉強机、自転車などを横目で見ながら、つい「まだ使えるのになあ」と思っているのは私だけでしょうか。

先日、市内のリサイクル店で、きれいに磨かれた同じような勉強机に、一万円ほどの値札が付いていました。林の中に捨てられ、粉々に砕かれた勉強机と、リサイクルでどこかの小学生とまた一緒に勉強する勉強机とは天地の差です。テレビでも公設のリサイクルセンターが放映されていました。大勢の人で賑わい、

わが家自慢のお雑煮



堀内 亨子さん (南流山)

関西風お雑煮

私は関西(大阪)の出身です。こちら(関東)のお雑煮を食べたときは「これはお雑煮とは別のモノ」という、ちよつとしたカルチャーショックを味わいました(笑)。やはり、しょっぱいという味が濃いですね。このお雑煮は、子供の頃からなじんでいる味なので、自分ではよくわからないのですが、知人は、「白みそ仕立てでさっぱりしているけど、味がしつかりしている。ちよつと京風っぽい」という感想でした。



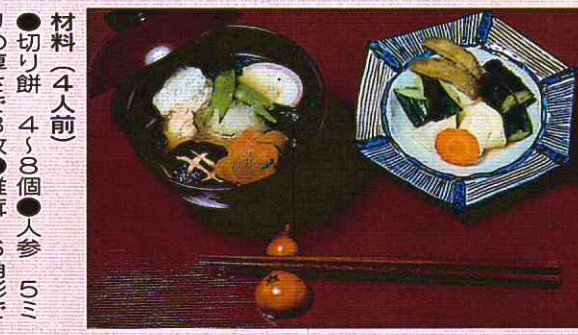
材料(3~4人前)
●小大根 1/2本 ●丸餅 3個 ●里芋 3個 ●らい ●白みそ 約80g ●糸鰹節 適量 ●出し汁 (昆布・鰹節) 700cc

作り方
里芋は1センチ幅に切り、小大根は3ミリ幅で輪切りにし、(三角でも可)竹くしがスツと通るくらいに下ゆでしておく。出し汁を鍋にかけ、温かくなったら白みそを溶き、丸餅を入れ、柔らかくなったら里芋と大根を入れる。椀に盛って糸鰹節をのせる。色づけに小松菜や金時人参を使うことも。焼豆腐を入れると二層おいしい。



横谷 けさよさん (加)

みぞれ雑煮



●かまぼこ 4枚 ●サヤエンドウ 8枚 ●大根 1/2本(おろす) ●鰹節 2つかみ(多目) ●昆布 15センチの長さ1枚 ●塩 1さじ半 ●酒・みりん 少々 ●各々小さじ1

作り方
まず鰹出し汁を作る。昆布を十五分くらい水に漬けて弱火で煮る。沸騰直前に昆布をとるのがコツ。鰹節を多目に二つかみ入れ、塩、酒、みりん、しょうゆを入れて味を調える。そこに椎茸、人参、サヤエンドウを入れて下味をつけ、餅は揚げておく。出し汁が煮えたら汁を椀に盛り、揚げた餅を入れ、椎茸、人参、かまぼこ、サヤエンドウを飾るように入れ、最後に大根おろしをたっぷり盛り付けてできあがり。

平和都市宣言

私達は、平和と繁栄を市民憲章にうたい、「豊かで活力のある文化都市」流山の実現をめざしている。私たちの国は、世界でただひとつの被爆国として、広島・長崎のいたましさと被爆者の苦しみをすべての人びとに訴え、人類共通の願いである恒久平和を達成させなければならぬ。私達は、日本国憲法の平和精神にのっとり、武力による紛争をなくし非核三原則をまもり、すべての核兵器をすることを訴え、世界平和確立のため、ここに平和都市を宣言する。

昭和六十一年一月一日

流山市

今月の展示

市民ギャラリー

【書道展(4月)〜29日(金)】
市文化協会書道部の作品を展示します。

【四季の花々展(4月)〜8日(金)】
「初音」をテーマに市文化協会華道部の作品を展示します。

四社会教育課 ☎50-6106

市民文芸

※投稿者は必ず住所・氏名を明記してください
原稿は直接選者へお送りください

俳句

河合凱夫 選 (野田市宮崎95)

美 田 清水 明
江 戸 川 台 浅利 ミチ
西 初 石 宇 田 川 弘 子
美 田 山 田 孤 舟
向 小 金 鳥 羽 田 信 子

秋晴る吉のおみくじ懐に
わんこ蕎麦すすり南部の秋惜しむ
コバルトの空をうねりて鴨渡る
旭出て枯れ急ぐもの輝けり
秋の夜や思わぬ人の武田節
【評】新巻ながら締め切りの関係で秋の句が揃った。いずれも力作で甲乙はつけ難い。
本年も市民の皆様を期待いたします。

俳句

水見壽男 選 (流山市東深井851)

西 初 石 斎藤登志子
松 ヶ 丘 皆 川 春 安
野 々 下 大 野 和 子
向 小 金 関 口 條 山
若 葉 台 森 川 一 郎
静けさがある。春安さんの句、南画の太公望を彷彿とさせて絵画の趣。和子さんの句、井戸端会議の雰囲気秋冷が効く。

短歌

武田静江 選 (流山市松ヶ丘4-505-90)

還歴に友の呉れたるシンビジュウム十五年経るも咲き盛りたり
若 葉 台 中 沢 き ぬ こ
石段を登りてわが町流山の見ゆる東福寺に初鐘撞(つ)く
野 々 下 富 田 き よ 子
黄の銀杏葉の残りたる枝振りのあらわとなりし幹の量感
松 ヶ 丘 寺 田 貞 吉
起きあがれさあ姫になれ麗生えし達磨の類に激励される
富 士 見 台 森 口 杏
山峽の陽さし明るくこの年も幸あれかしと切に祈りぬ
西 初 石 平 野 萬 江

詩

宮田登美子 選 (流山市江戸川台西4-109)

僕は何も待っている 野々下 山口喜美子
もう幾日も待っている
暑い暑い日は此処に忘れられた
今は寒いくらい
でも僕は待っている
きつときつと迎えて来てくれる
昨日風に飛ばされそうになった
昨日がかりの人がしつかりと
鉄欄に掛けてくれた
これで大丈夫かな
冬にならない前に迎えて来てほしい
僕はまだ十分働ける
骨もしつかりしている
どうか思出して下さい
このブルーの傘

【評】傘を僕という一人称を用いて、最後までその正体が不明のまま展開する面白さがあり、新鮮です。現代社会のいたる所で待っている僕という存在が忘れ去られているのかもしれない。日常的な出来事の表出が単に物とは限らない様々の僕の声を代弁している所に届いているのがこの作品のもう一つの魅力です。